

1 働くこととは

働くことは会社（使用者）と
働く人（労働者）の約束によってなっています。

(1) 会社が働く人に求めること

会社は、働く人に約束どおり職場に来て働いてもらうことを予定しています。会社に来るのかどうかあてにならない人では困ります。無断欠勤はもちろん、突然の休みや遅刻は他の人の迷惑になります。あらかじめ休むことや遅くなることがわかっているならば、会社（上司）に話をしておかなければいけません。会社が必要としているのは、必ず出勤して仕事をしてくれる信頼できる人です。

会社は、たいてい一人で仕事をするのではなく、何人かのチームで仕事をしています。上司の指示を聞いたり、いっしょに働く人と協力したりして、職場全体で力をあわせて仕事をすすめていくことが求められています。

上司や先輩にいわれたことをきちんとやることは重要ですが、単にいわれた内容をそのままやるだけでは、あなたの能力の向上はありませんし、会社に貢献することもできません。会社は、仕事に必要な知識や技術・技能を向上させていく積極的な姿勢を求めています。

(2) 働く人が会社に求めること

働くときには、好きなことだけしていれば良いわけではありません。いくら好きなことでも、働いて賃金・給料を会社からもらわなければ、生活していくことができません。そのため、働く人は、会社が約束どおり賃金・給料を支払うことを求めています。

働く人は、事故が多くて危険な職場や、職場のいじめ、セクハラ・パワハラがあったり、暴力をふるわれるような会社で働きたいとは思いませんよね。ですから、会社には安全で快適な職場をつくるのが求められています。

また、働く人は、快適な環境で働きつづけられる会社を求めています。いつ会社をやめさせられるのか心配になる環境では、安心して働くことができません。働く人にとって、安定している会社かどうかはとても大切なことです。